



# 8月 園だよい

今月のねらい

たくさん外で遊び、  
水遊びを楽しもう！



学校法人 野間学園 野間十一サリ



## 暑中お見舞い申し上げます

朝顔が朝の光を浴びて、元気に咲いています。日に日に暑さが増し、本格的な夏がやってきました。子ども達は暑さに負けることなく、戸外で元気いっぱい遊んでいますよ。日差しの強い日が続いており、熱中症・汗疹が気になる季節です。戸外に出るときは必ず帽子を被るようにし、小まめに休息・水分補給を行うよう声掛けしています。子ども達も汗をかいたらタオルで拭いたり、着替えたりと少しずつ意識して行えるようになってきました。

8月は、園外保育での川遊びや園庭での水遊び、ボディペインティングなどの活動を予定しています。夏ならではの遊びをたくさん取り入れていきながら、子ども達と元気いっぱい過ごしていきたいと思います！

夏の時期は戸外へ出かける機会も多く、水の事故や交通事故などが起こりやすいです。左右をよく確認して横断歩道を渡ることや、車の近くで遊ばないこと、子ども達だけで水遊びをしないことなどをもう一度確認しましょう。またこの時期はつい、生活のリズムが乱れがちです。早寝早起きを心がけ3度の食事をしっかり取り、夏バテ防止に努めましょう。

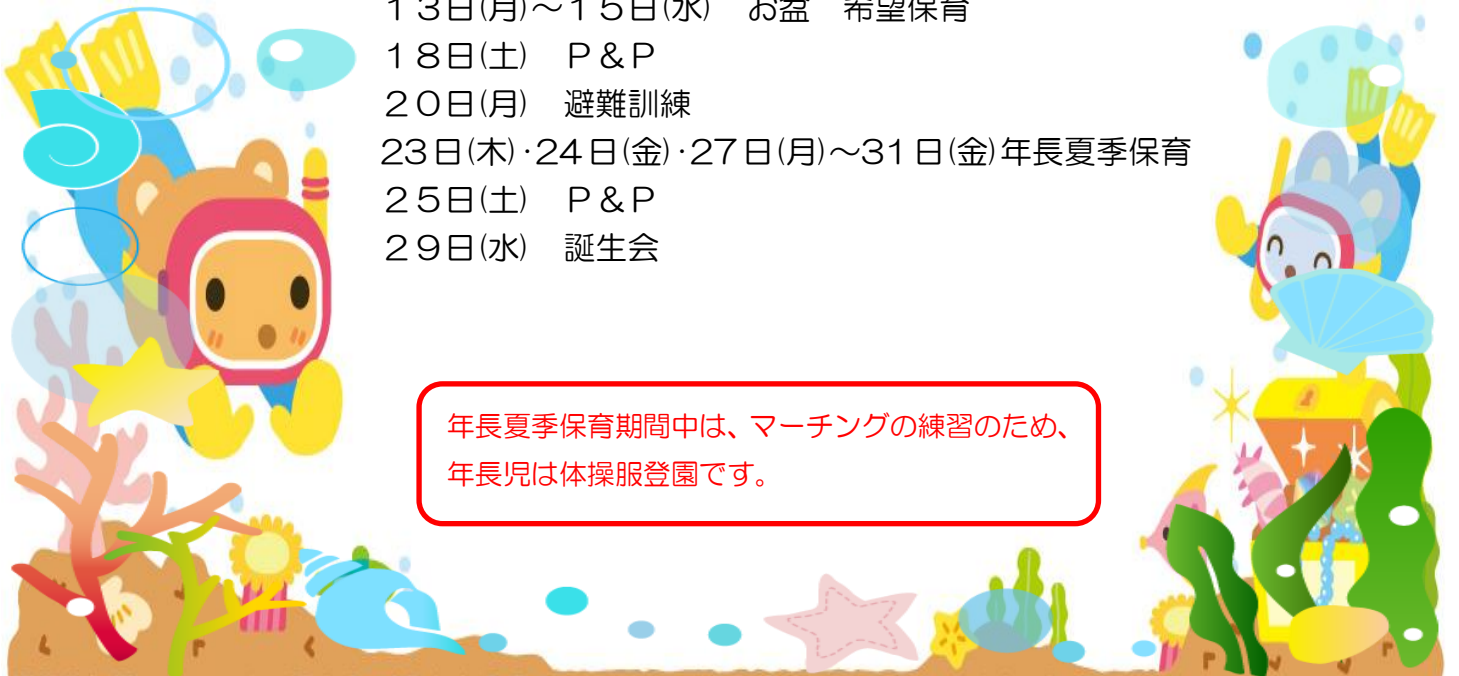


## 今月の予定



- 1日(水) 身体測定
- 3日(金) 園外保育(柏原自然公園)  
※れんげ組・さくら組・うめ組のみ
- 4日(土) P&P
- 13日(月)~15日(水) お盆 希望保育
- 18日(土) P&P
- 20日(月) 避難訓練
- 23日(木)・24日(金)・27日(月)~31日(金) 年長夏季保育
- 25日(土) P&P
- 29日(水) 誕生会

年長夏季保育期間中は、マーチングの練習のため、  
年長児は体操服登園です。



# ★ 年長組からのお知らせ ★

マーチング当日、女の子は、ユニホームのスカートの衣装が短い為、全員白の無地のパンツをはいて演技をします。

又、全員白のハイソックス(園指定)を着用しますので用意を  
よろしくお願い致します。

## 園外保育 8月3日(金) れんげ組・さくら組・うめ組参加

8月3日(金)に自然豊かな柏原にある『柏原自然公園』へ行き、川遊びをします！  
川の水はとても冷たく、気持ちよく遊ぶ事が出来ます。また、色々な虫や草花を見つ  
けたり、異年齢の友達と遊んだりと様々な体験をします。  
ぜひ、楽しみにして置いて下さいね！



## 提出物について



提出物には期限があります。  
それぞれきちんと把握して期限を守るようにしましょう。  
お忙しいとは思いますがご協力よろしくお願い致します。

内容	対象	期限
絵本代	全クラス	毎月10日
布団乾燥代	たんぽぽ・れんげ・さくら	毎月10日
主食費	さくら・うめ	毎月10日
P&P	全クラス	毎週水曜日まで
朝延長希望	希望される方のみ	前日の夕方まで



# 水遊びについて



とても暑い毎日が続いています。水遊びをして、暑さを吹き飛ばしましょう！  
日程や詳細についてお知らせしますので、準備をお願いします。

## たんぽぽ組

3日 10日  
17日 21日

## れんげ組

16日 20日  
22日

## さくら組

10日 16日  
21日

## うめ組

17日 20日  
22日

《持ってくるもの》

- ・水着 ・バスタオル(タオル) ・水遊びカード
- ・水遊びに使える玩具を持参しても構いません  
(ビニール製のバッグや袋に入れてお持ちください)

※必ず記名をお願いします。



※水遊び・ボディペインティングの日は、登園前に検温をし、健康調査票（水遊びカード）に、必ず記入をして提出していただくようお願いします。  
提出されていない場合は水遊びができません。また、しらみやとびひなど、感染症にかかっている場合も水遊びができませんのでご了承ください。



# ボディペインティングについて



れんげ組 さくら組

6日（月）

うめ組

9日（木）

《持ってくるもの》

- ・水着（・パンツ・Tシャツ）
- ・水遊びカード
- ・バスタオル(タオル)  
(ビニール製のバッグや袋に入れてお持ちください)



※持ち物には必ず記名をお願いします。

※ボディペインティング当日は、汚れてもいいパンツやTシャツで登園してください。

※ボディペインティング時は、玩具は必要ありません。





# 子どもの日焼けに注意！

日焼けは太陽の紫外線によって皮膚が炎症を起こした状態。れっきとした“やけど”の一種です。範囲と程度がひどければ、命にかかわることも……。また、子どものころから日焼けを繰り返すと、肌の老化が早まり、遺伝子が傷ついて皮膚がんを起こすともいわれています。出来るだけ予防をして、少し焼けた肌にはアフターケアをしてあげましょう。

## ●日焼けの症状と対処法は

やけどなので、基本はまず冷やすこと。水につけるか、濡れタオルなどで包んで扇風機の風を当てます。水疱ができたときは、つぶさないように気を付けましょう。広い範囲に水疱ができていたり、熱があったり、ショック症状が起きていたら、すぐに病院へ連れていきましょう。

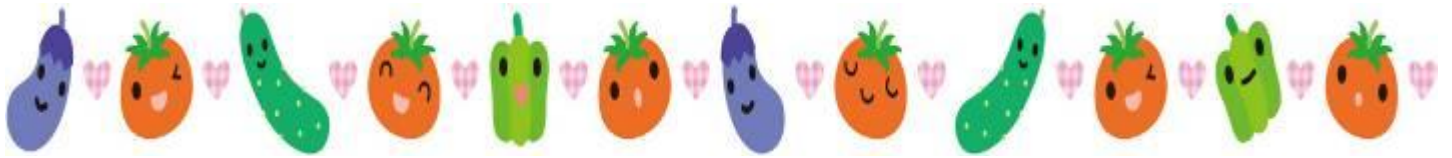
## ●日焼けを予防するには

1歳未満の赤ちゃんは皮膚が薄く日焼けが重症化しやすいので、夏の直射日光には当てないことが大切です。例えば、海に行くのは避けてください。その後も3歳までは、日焼けや熱中症に厳重注意が必要です。アウトドアでは日陰を確保して適宜休ませ、帽子や服でできるだけ皮膚を覆います。日焼け止めは肌との相性を確かめてから使いましょう。少量を腕の内側につけて1日様子を見て、かぶれなければ大丈夫です。

## ●ただし、過剰な反応は禁物です！

紫外線を浴びすぎると、様々な悪影響があるのは現実で、紫外線を浴びすぎないように対策をとることは重要です。しかし、紫外線の健康影響について過剰に反応しすぎてしまうと異なる面で大きな悪影響が出てしまいます。正しい知識をもって行動すれば、紫外線は決して恐ろしいものではありませんので、浴びすぎないこと（浴びないことではなく）に注意して下さいね。





# 8月の献立

日	曜日	昼食	おやつ
1・15・29	水	ごはん・ベーコンスープ 一口がんものカレー風味煮	スキムミルク オレンジゼリー クラッカー
2・16・30	木	ごはん・八宝菜・清汁	スキムミルク とうもろこし 梨
3・17・31	金	ごはん・コーンと冬瓜のミルクスープ 牛肉とごぼうのみそマヨ炒め	スキムミルク にんじんカップケーキ
4・18	土	スパゲティナポリタン・すいか	牛乳 カステラ
6・20	月	パン・肉団子と野菜のスープ かにサラダ	すいか
7・21	火	ごはん・大豆と豚肉の黒酢煮 中華スープ	スキムミルク 白桃ゼリー
8・22	水	ごはん・魚の香味焼き・ゆでいんげん 夏野菜のカレースープ	豆乳 かぼちゃの包み揚げ
9・23	木	ごはん・豚肉の南部焼き・レタス ラタトゥユ	スキムミルク チーズ入りホットケーキ
10・24	金	ごはん・魚のマリネ ひじきの煮付（油揚げ入り）	スキムミルク 小倉蒸しパン
25	土	冷拌麺（リャンバンメン） ヨーグルト	牛乳 クッキー キウイフルーツ
13・27	月	パン（ごはん）・なすのミートソース煮 レモン酢和え（しらす干し）	アイスクリーム
14・28	火	ごはん・ツナとかぼちゃの落とし揚げ レタス・具だくさんみそ汁	豆乳 マカロニのきな粉和え



# 協調性(共感性)、競争意識を 健全に育てるには…

人が成長し、少しずつ世界を広げながら社会の仲間入りをする際には、協調性(共感性)、競争意識がしっかりと身につけていることが大切です。協調性とは、互いに助け合ったり譲り合ったりしながら目標に向かって協力する素質であり、相手の気持ちに共感したり、思いやりの気持ちを持ったりすることですね。それだけでは、相手の言うことをただ迎合するだけ、いいなりに従うだけ、となってしまいますので人間にとっては競争意識もとても大切なものです。そしてその二つがバランスよく備わっていることが社会でうまく生きていく力となっていきます。では、その協調性(共感性)、競争意識を育てるにはどうしたらよいのでしょうか？

児童精神科医の佐々木正美先生は著書の中で、協調性(共感性)、競争意識そして主体性は、友だち関係の中でしか育たないものであり、その両方のバランスがとれて初めて生きてくるものであると言われています。『子どもが社会の仲間入りをするために、その準備としてもっとも大切なのは、まず友だちと上手に遊べるようになることです。あるいは、仲間と一緒に工作をしたり、劇やダンスの作品を作ったり、という共同作業の中で、自分の分担や役割をのびのびとこなしているか、ということです。それができるようになるには、その前段階で、じゅうぶんに親に愛され認められることで自分に自信を持ち、他者に共感できる感性が育ちつつあることが前提です。そうした発達段階を踏み、友だちとの共同作業、遊び合うことを通じて、子ども達は社会に出て、仕事をするときにも通用する協調性、共感性、競争心、そして勤勉さを身につけていくこととなります。』

園で友達と仲良くできているのだろうか？と時には心配になる保護者の方もいらっしゃるかと思いますが、どうぞ温かく見守ってあげて下さいね。そして子ども達とたくさん一緒に遊び、共に喜び合う経験をたくさん積んでほしいと思います。子ども達は、ご家庭でたくさん保護者の方と一緒に遊び、気持ちに共感してもらいながらありのままを受け止めてもらうことで、安心して友だちとのびのびと遊べるようになるのです。そしてその中で自分に対する「肯定感」を持てるようになると、一人では乗り越えられない壁にぶつかった時には、親や友達に自ら相談したり頼ったりすることもできるようになります。人は一人では生きられません。孤立せず、時には誰かに頼ったり助けを求めたりする力もとても大切です。子ども達の心の成長を、共に支え見守っていきましょう。

参考文献「子どもの心の育て方」児童精神科医 佐々木正美先生

